



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 R | 第2500地区

vol. 31 No. 2130

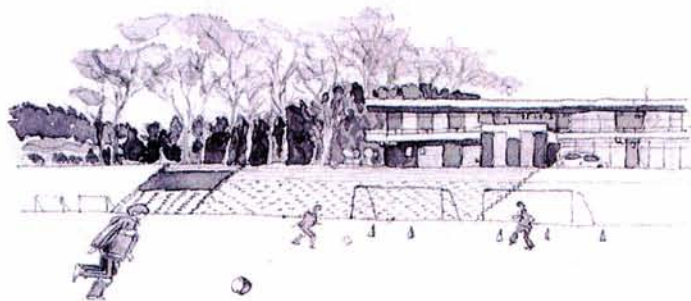
二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

超我の奉仕。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場/士別グランドホテル
 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
 事務所/士別グランドホテル
 TEL (0165) 23-1234

会長/汐川 泰晴
 副会長/織戸 俊二
 幹事/川原 一夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

第2207回例会 2006年3月20日 (月)

今日のプログラム ・ 普通例会

■ 前回 (3月13日) の記録 ■ ・ 普通例会

司 会 藤吉敏博会場監督
 斉 唱 奉仕の理想
 本日の出席 出席率73.8% 会員65人中 出席者48人
 本日の欠席 泉谷 勇、扇谷雅樹、川橋勝美、汐川泰晴、柴田敏郎、志村孝幸、谷 温恵、千葉繁夫、
 寺下隆通、鍋島 秀、福島栄三、三野博司、本山忠之、渡辺正一、加藤 博、中川涼一、
 吉川紀雄
 メークアップ 千葉道夫 (3/11地区チームリーダー研修会)
 ビジター
 ゲスト
 ニコニコBOX 竹内栄一 (お孫さん大学合格) 累計234,000円

例会予定

3月・世界ローターアクト週間	4月・ロータリー雑誌月間
3月6日 (月) 普通例会・理事会	4月3日 (月) 普通例会・理事会
3月13日 (月) 普通例会	4月10日 (月) 普通例会
3月20日 (月) 普通例会	4月17日 (月) 普通例会
3月27日 (月) 夜間例会 (士別ロータリー創立記念日例会)	4月24日 (月) 夜間例会

■ 会務報告

織戸俊二副会長

今日は汐川会長が急用で欠席となり、織戸が代行で会務報告をさせていただきます。

ガバナー月信にメイクアップの達人、富良野RC荒木会員のロータリーライフの話の中で、たいへん良いと思った内容があり、抜粋してみました。

荒木会員は商工会議所会頭の中でももっとも若い53歳、抜群の行動力とリーダーシップとロータリアンのみならず道経済界が注目する存在の人です。

メイクアップは年間23～24回、出張が年間120日、仕事柄、旭川、札幌によく行きます。

ロータリーの多少高めの昼食代も情報が得られるとすれば安い投資に過ぎないと話しています。

荒木会員は会社を経営するにしても人として生きていくにしても素晴らしいのは人と知り合えること、知っている人の数、質、これはとても大切なことと話しています。

情報は人が持っています。情報が欲しいと思ったら人に会わなければなりません。質のいい情報を多く得ること、それが会社の経営にも人生の充実にも大切なことだと話しています。

ロータリーのメンバーはレベルの高い方々です。

レベルとは知識であり、経験であり、その質であり、ロータリアンという仲間意識であると言っています。

例会にメイクアップし会話することで知り合いになり良質な情報をいただくことが出来るとガバナー月信に載っておりました。会員皆様にもたいへん参考になると思います。

私をはじめ、会員の皆様も少しメイクアップに行きませんか？

■ 幹事報告

川原一夫幹事

1) 受信関係＝士別国際交流協会より、3月20日午後6時より開催される士別国際交流協会会員の集いの案内。講演は小池暢子氏にはこれからの国際交流というテーマで、中嶋清太郎氏にはアフリカの子供たちにふれてというテーマ。熊本グリーンロータリークラブよりロータリー情報集発行の案内文書が届いており、購入ご希望の方は私までお申し出ください。
2) 国際ロータリー第2500地区ガバナーエレクト小野哲氏より、2006～2007年度地区役員第二分区ガバナー補佐千葉道夫会員の委嘱状が届いておりますので進呈いたします。

■ 第1回地区役員会議の報告 (3月11日・於紋別市)

2006～2007年度地区役員第二分区ガバナー補佐
千葉道夫会員

4月23日には地区協議会が紋別市で行われるわけですが、これを元にいよいよ(次年度が)動き出し

ます。そのひとつの準備として地区役員のリーダー研修会という名目で、ガバナー補佐、地区役員約50人が参加しました。

織戸副会長から2006～2007年度地区役員第二分区ガバナー補佐の委嘱状を受け取る千葉道夫会員



RI、及び地区の方針などの説明があり、来年は「率先して」というのがテーマです。何度も言われるようにもう一度原点に帰ってということで、RIの発展はやはり地区でありクラスであり、ロータリアンであるというような話でした。個人個人が質を高め、率先して地域で奉仕活動をするということが、新しい年度のひとつの基本方針となっているようです。

これに基づき、地区としても関連した方針を打ち出しているところです。まず財団への寄付、これはクラスには徹底してほしいとの話でした。また米山奨学生の受入についても早い段階で各クラスに打診してほしいとのことでした。地区大会の参加要請、それからIMなどの日程等々など、早い時期に決めてほしいということでした。これはありきたりのことで、粛々とやっていきたいなあと思います。

士別の関係では公式訪問ですが、いつも7月の日程となっていました。今回は9月11日に中頓別をスタートして、5日間で5つのクラスを公式訪問しまして、士別は10月16日となっています。近いということもあるのでしょうか。ガバナーとしてはなるべく宿泊しないで帰るといったような日程をとっているようです。士別は昼の第3例会にあたります。午前9時10分から会長、幹事との懇談会、10時10分からクラブ協議会、12時10分から会長公式訪問例会となります。この日程で進むという話でした。

紋別港ロータリーはポストガバナーが輩出しているレベルの高いクラスでした。

財団については、世界ではまだ80%が100ドルに達していない状況、地区内にもゼロがあるそうです。財団への支援はこれからも理解を深めていきたいとのことでした。

地区役員の中には女性が3人いるそうです。

我々のクラスでは最近では西條さん、山本さん、百瀬さんのガバナー補佐を輩出しています。先輩方の顔に泥を塗らないように精進して取り組みたいと思いますので、よろしく御指導お願いします。